

平成27年度 下半期 市の財政状況を公表します



春日井市では、毎年6月と12月に財政状況を公表しています。
今回は、下半期（平成28年3月31日現在）の財政状況について公表します。
※各計数は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
※5月末まで、収入・支出を整理する期間があるため、決算額ではありません。

一般会計

予算の状況（3月31日現在）

一般会計では、当初予算額が955億6000万円でしたが、補正予算を4回編成し、総額で40億7030万円を増額補正しました。また、前年度予算から8億5321万円を繰越し、その結果、予算現額は1004億8351万円となりました。

<12月補正予算の主な内容>

まちづくり寄附基金積立金	1億5000万円
障がい者福祉施設等整備補助	1億4844万円
ふるさと納税推進	5400万円
福祉応援券	1280万円

<3月補正予算の主な内容>

小学校普通教室空調機設置工事	4億7000万円
まちづくり寄附基金積立金	3億3000万円
障がい者福祉推進	2億9700万円
人件費（給料）	△1億7992万円

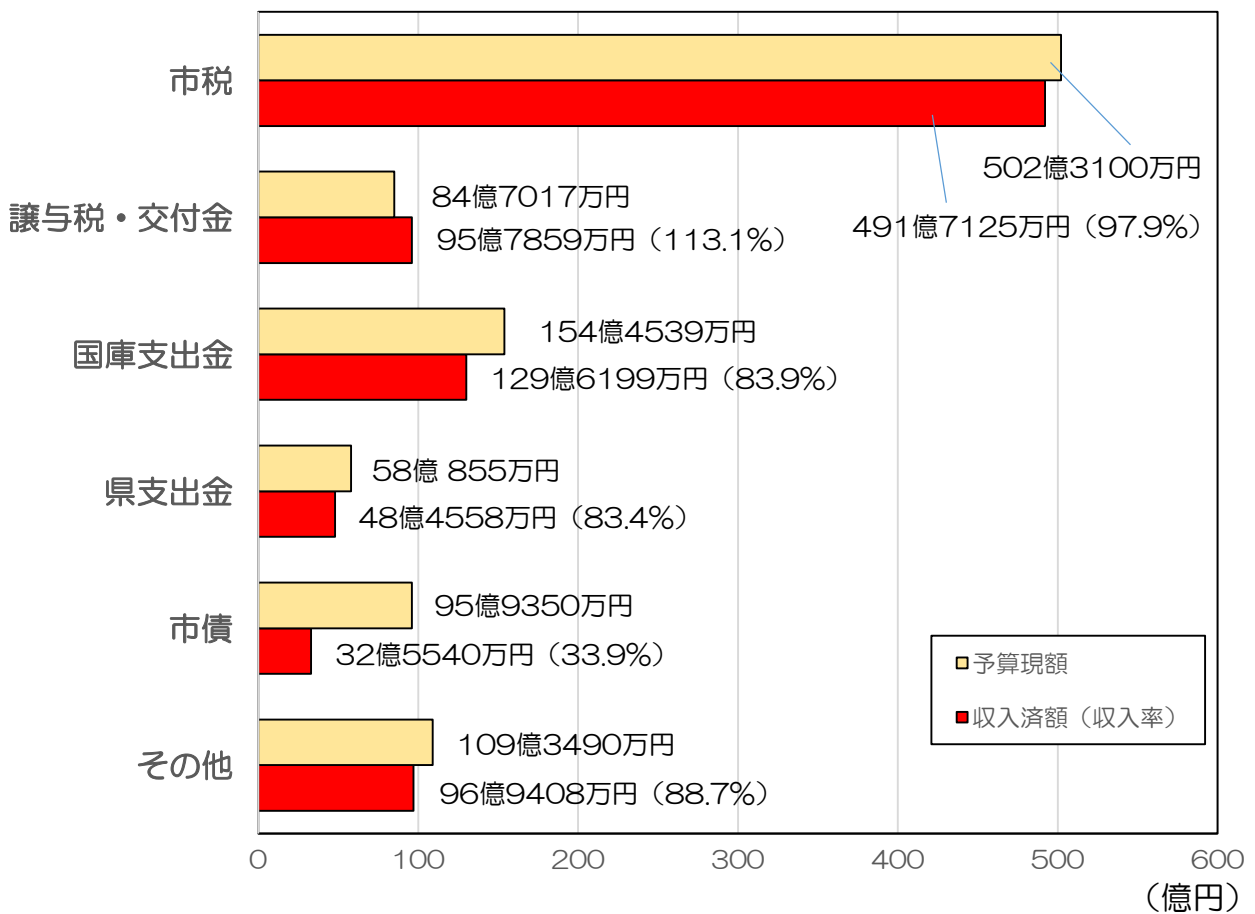
※9月30日までの補正予算の主な内容は、上半期で公表しています。

予算の執行状況（3月31日現在）

歳入

予算現額 1004億8351万円

収入済額 895億 689万円（収入率89.1%）



市 税：市民税、固定資産税、都市計画税などです。

譲与税・交付金：自動車重量税など国税として徴収され、法令に定める配分基準に基づき市へ譲与される地方譲与税や、所得税・消費税など国税として徴収され、そのうち一定割合が市へ交付されるものです。

国庫支出金：国から支出される負担金、補助金などです。

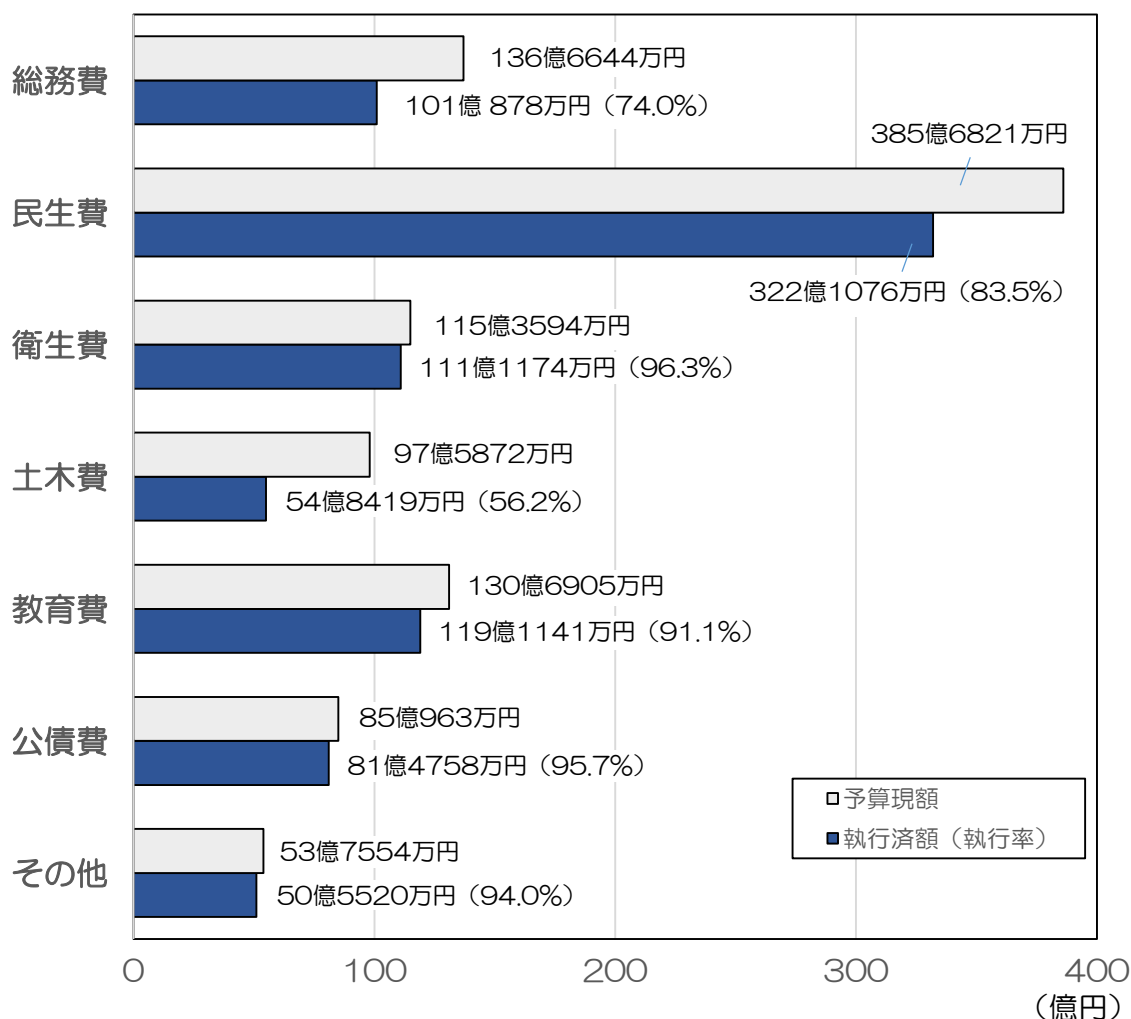
県支出金：県から支出される負担金、補助金などです。

市 債：公共施設の整備などのため国・銀行等から借り入れるものです。

その他の収入：公共施設の使用料や、住民票の写しの交付などの手数料、基金を取崩し繰り入れた財源などです。

歳出

予算現額 1004億8351万円
執行済額 840億2966万円（執行率83.6%）



- 総務費：市政全般の管理費や徴税、選挙などを行うための費用です。
- 民生費：生活保護費や児童・高齢者・障がい者などのための施策を行う費用です。
- 衛生費：予防接種や各種検診、ごみの収集・処理などを行うための費用です。
- 土木費：道路・河川・まちづくり・住宅・公園などに要する費用です。
- 教育費：小・中学校の教育や社会教育などを行うための費用です。
- 公債費：市債の元利償還金に要する費用です。
- その他：消防や商工業、議会などに要する費用です。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充てる場合に、一般会計とは別に経理を独立して設けているものです。

一般会計とは別に経理を行うことで、特定の事業や資金運用の状況を、より明確にするために設けています。

なお、勝川駅周辺総合整備事業特別会計（昭和63年度設置）を平成26年度の事業の完了に伴い廃止したため、平成27年度において春日井市では9の特別会計を設けています。

予算の状況（3月31日現在）

特別会計では、当初予算額が669億9918万円でしたが、補正予算を編成し、総額で4億4386万円を増額補正しました。また、前年度予算から3474万円を繰越し、その結果、特別会計全体の予算現額は674億7778万円となりました。

<3月補正予算>

国民健康保険事業特別会計	0円（財源更正）
--------------	----------

<3月補正予算（専決）>

後期高齢者医療事業特別会計	76万円
---------------	------

※9月30日までの補正予算は、上半期で公表しています。



予算の執行状況（3月31日現在）

予算現額 674億7778万円

収入済額 564億 628万円（収入率83.6%）

執行済額 608億 8万円（執行率90.1%）

会計名	予算現額	収入済額	収入率
		執行済額	執行率
公共用地先行取得事業	2億6866万円	14万円	0.1%
		2億6866万円	100.0%
国民健康保険事業	361億6990万円	301億7987万円	83.4%
		325億9682万円	90.1%
後期高齢者医療事業	40億 503万円	29億8127万円	74.4%
		34億9026万円	87.1%
介護保険事業	180億1905万円	148億8399万円	82.6%
		159億8557万円	88.7%
介護サービス事業	1億1144万円	1億 666万円	95.7%
		1億 382万円	93.2%
民家防音事業	4066万円	0円	0.0%
		2372万円	58.3%
潮見坂平和公園事業	1億6044万円	1億 247万円	63.9%
		9801万円	61.1%
松河戸土地区画整理事業	2億2792万円	1億3929万円	61.1%
		2億2064万円	96.8%
公共下水道事業	84億7468万円	80億1258万円	94.5%
		80億1258万円	94.5%

企業会計

企業会計とは、市が公共の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業の会計です。

一般会計や特別会計が主に税金で賄われるのに対し、企業会計は提供するサービスの対価である料金収入によって維持されるものです。

予算の執行状況（3月31日現在）

会計名			予算現額	収入済額	収入率
				執行済額	執行率
市民病院 事業	収益的	収入	154億1926万円	130億8884万円	84.9%
		支出	154億1926万円	149億9311万円	97.2%
	資本的	収入	1億8729万円	2億 580万円	109.9%
		支出	18億1043万円	17億2835万円	95.5%
水道 事業	収益的	収入	61億6239万円	59億6509万円	96.8%
		支出	53億2409万円	51億7553万円	97.2%
	資本的	収入	2億9519万円	1億1408万円	38.6%
		支出	54億8237万円	30億 724万円	54.9%

収益的収支：企業の経営活動にかかる収支です。収入は主に料金収入で、支出は人件費、固定資産の減価償却などです。

資本的収支：施設の整備などにかかる収支です。収入は資産の取得のための企業債などで支出は施設の整備・拡充などの資産の取得費用や企業債の元金償還金です。



その他

一時借入金の状況（3月31日現在）

一時借入金とは、一会計年度内において、歳計現金が不足した場合に、その不足を補うために一時的に借り入れる資金のことです。

平成27年度の一般会計の一時借入金限度額は50億円となっています。下半期における、借入実績はありません。

基金の状況（3月31日現在）

基金は家計の貯金にあたり、災害などの想定外の支出に対する備えや予定する収入が確保できない場合に取り崩して使用するほか、特定の目的を達成するために必要となる財源として積み立てを行っています。

基金名	現在高
財政調整基金	57億1996万円
市債管理基金	250万円
潮見坂平和公園墓地永代清掃基金	6億2398万円
潮見坂平和公園墓所整備基金	7億9364万円
社会奉仕活動奨励基金	6435万円
緑化振興基金	2億4486万円
スポーツ振興基金	1億1722万円
介護給付費準備基金	10億9872万円
市民メセナ基金	723万円
文化スポーツ施設整備基金	7億4960万円
まちづくり寄附基金	4億7472万円



合計残高 98億9677万円

市債の状況（3月31日現在）

市債は家計に例えると、住宅ローンなどの借金に相当します。長期間使用する公共施設を整備するにあたり、世代間の費用負担の公平を図るため活用しますが、市債の償還が財政運営を圧迫することがないように計画的な借入に努めています。

会計別

会計名	市債残高	割合
一般会計	739億4487万円	54.1%
公共下水道事業特別会計	474億6153万円	34.8%
市民病院事業会計	102億4408万円	7.5%
水道事業会計	36億 978万円	2.6%
公共用地先行取得事業特別会計	9億8253万円	0.7%
松河戸土地区画整理事業特別会計	3億5107万円	0.3%
合 計	1365億9385万円	100.0%

借入先別

借入先	市債残高	割合
財務省	733億2162万円	53.7%
銀行	334億2991万円	24.5%
地方公共団体金融機構	159億7913万円	11.7%
旧簡保・旧郵貯	79億1456万円	5.8%
その他	59億4862万円	4.3%
合 計	1365億9385万円	100.0%